

平成30年度 北栄みのりグループホーム 事業計画

| | | | |
|----------|--|----------------|---------|
| 事業所名 | 北栄みのりグループホーム | | |
| 施設長・管理者名 | 施設長 佐伯 和也（兼務） 管理者 前田 説子 | | |
| 実施事業 | 認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護 | | |
| 開設年月日 | 平成18年4月1日 | | |
| 所在地 | 鳥取県東伯郡北栄町東園219-1 | | |
| 正規職員数 | 2名 | | |
| 臨時職員数 | 12名 | | |
| パート職員数 | 3名 | | |
| 定員 | 18名 | 目標利用者数 17.6名/日 | 利用率 98% |
| 職員配置 | 管理者兼介護支援専門員 1名・介護職員 13名 夜勤専門介護員 3名 計17名 | | |

1 基本方針

認知症になっても、地域の中であたりまえの暮らしができるように、ご利用者の個性を尊重し家庭的な環境のもとで、一人ひとりの力を引き出せるように支援します。ご利用者の心身の状態を把握し、医療機関との連携を図り適切な対応に努めます。地域の一員として地域活動を通じ、馴染みの関係を大切にしていきます。

2 運営

- (1) お一人おひとりの「出来ること」を引き出し、充実した生活を送れるよう支援します。
- (2) 住み慣れた地域の中で、家族や友人との関係を保ちながら、馴染みの関係の中で、安心して生活できるよう配慮します。
- (3) 共同生活住居にあっても、「個性と尊厳」を最大限尊重し、可能な限りご利用者の思いに添ったサービス提供に努めます。
- (4) 家庭的な環境のもとで、掃除、洗濯、食事作りなどの日常生活を共に行うことにより身体機能が保てるとともに、居心地の良い生活空間となるよう努めます。
- (5) 医療機関と連携を図り、健康を維持しながら安心して過ごせるよう支援します。また、希望される医療機関に定期的に通院し、心身の健康を維持していただくことで、心穏やかに生活していただけるよう支援します。
- (6) 生活支援
 - ①ご利用者様及びご家族様の意向と状況把握に努め、ケアプランに添った支援を提供することにより、生活の質の向上に努めます。
 - ②安心できる生活環境のもとで、ご利用者様個人の有する能力・可能性を大切にし、一人ひとりの出来ることを尊重したサービスの提供に努めます。
 - ③余暇活動として、趣味・特技(色塗り・読書・編み物・縫い物等)を生かした手作業や、季節ごとの外出行事、外食等を行い、楽しみを提供します。

3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

- ①二階床修繕 270千円
- ②トイレ・居室の換気扇取替 216千円

(2) 事業活動

①保育園との交流(ひまわり・コスモス交流会)

ご利用者の長年培ってこられた技術を伝える場、また、子どもとかわることにより、自然と笑顔になれることから、子どもと触れ合う機会を作ります。

②七夕会(そうめん流し大会)

全長25メートルを超えるそうめん流しの設備を整え、ご利用者に驚きと喜びの提供を目的とし、楽しんでいただける企画にします。

③収穫祭(北栄みのり交流まつり)

地域住民の方、また近隣の施設との交流の機会でもあり、施設で採れた野菜を用いた会食、地域のボランティアグループや職員の出し物などを行い、楽しい交流の場作りに努めます。

④蚕の飼育(蚕さんプロジェクト)

入居しておられる多くのご利用者が営んでおられた、養蚕を生活の中に取り入れることによって、仕事に打ち込んでおられた頃を思い出し、役割の提供をすることにより、認知症の進行を遅らせ、収穫した繭で作品を作ることで楽しみ、喜びを提供します。

⑤北栄茶道教室交流(七夕茶会)

北栄町茶道教室の先生と、教室に通われている小学校低学年から高校生までの生徒さんが来所され、浴衣姿で本格的にお茶を点でて下さり、少し緊張感を感じながら抹茶をいただく中で、地域の子どもたちとの交流を楽しむ機会を提供します。

4 安全管理・衛生管理

- (1) 気付きの観察力を高めるため、ヒヤリはつとを実践することによりリスクマネジメントとして分析し、事故防止に努めます。
- (2) 事故防止をはじめ、設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンス、環境整備に努めます。
- (3) 感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。

5 防火・防災、救助活動

災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。防火管理者が、入居ご利用者の実態に即した防災訓練(最低年2回)の計画、実施を行い、また、防災活動への参加、地域防災情報の把握、有事に迅速な対応ができる環境整備を行い、ご利用者の安全確保を行います。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指します。

(1) 外部研修・発表会への参加

- ①認知症介護実践者研修・キャリアアップ支援研修、認知症介護実践リーダー研修等を通じ、職員の学習意欲を高め、キャリアアップを図ることにより全体資質の向上とサービスの満足度を高めます。
- ②介護専門職研修会の参加を通じ、介護技術の習得を目指します。

(2) 法人内部研修への参加

- ①介護専門職研修会の参加を通じ、介護技術の習得を目指します。
- ②法人が行う各種内部研修等は、研修内容に適した職員が参加し、知識・技術の向上を図ります。

(3) 施設内のOJT・職場研修の実施

- ①全職員参加の施設内職員勉強会を通じ、スキルアップを目指します。
- ②研修してきた事に関しては、伝達研修を行い、施設職員全体のレベルアップを図ります。
- ③経験の少ない職員については、知識・技能、経験の高い職員により実務を通じた研修を行い、チームワークを形成し、業務、施設内の会議、研修などの中でコミュニケーションを図るよう努めます。

(4) 職員の資格取得のための取り組み

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップの支援に努めます。

7 各種団体との連携と地域交流

ご利用者様とご家族様や保育園、地域 団体等との交流の場を設け、社会の一員として積極的に社会交流が図られることを目指していきます。

グループホームが立地する地域へ積極的に出向き、地域住民の理解と協力体制の確立を目指していきます。

地域住民、各種団体、保育園等との交流を積極的に取り入れ、地域に開かれたグループホーム作りを推進していきます。

(1) 広報誌の発行・配布

発行回数：4回／年

配布先：-北栄町，包括支援センター，社会福祉協議会，近隣の施設，など

(2) 地域交流行事

年 4回

- ・ひまわりコスモス交流会 5月
- ・そうめん流し 7月
- ・北栄みのり交流祭り 10月
- ・餅つき 12月

8 年間行事等

別紙のとおり